



島田 政吾 議員

## 地元企業の育成支援

### 伝統産業に対しては

【問】一位一刀彫・飛騨春慶に対しての支援状況は。

【答】人材育成や、材料の共同購入に対する利子補給をはじめ、新商品開発やPRなどきめ細かな支援を講じている。今後も引き続き継続していく。

### 地元ベンチャー企業に対する支援は

【問】地元企業が制作するペレットストーブ、ペレット燃料等を公共施設に優先的に導入できないか。機能や熱効率等の良さから一部でも導入を。

【答】昨年導入にあたり検討したが、地方自治法により随意契約は困

難だった。今後契約の仕様の中で可能性を探り検討していきたい。

### 飛騨の里の再整備は

【問】国指定重要文化財が多数ある飛騨の里の今後の整備と、運営に関する方向と、指定管理者制度の見直しは。



【答】重要文化財を適正に手入れ保存しながら、イベントも含め、飛騨の里の魅力を啓発していく。現在、住まれて実際に活動している工芸集落の充実を図り、

観光客が参加出来るような施設にしたい。また指定管理者制度の再契約に際しては協議をし時勢にあった契約を進めていきたい。

### グラウンドゴルフ場の整備拡充

【問】民間と市が協力して開設した飛騨高山グラウンドゴルフ場のコース整備拡充が必要との意見が聞かれるが、市の考えは。

【答】施設を作る前の段階から高山市が関わってきた。立派な施設運営がなされるよう、今後市民や社会福祉協議会から要請があれば検討していきたい。



松山 篤夫 議員

## 「ふれる」「つくる」「つなぐ」で、文化・芸術のまちづくりを!

### 観光戦略について

【問】今回の昇龍道ミツシヨンについて、昇龍道プロジェクト推進協議会と台湾観光協会との覚書の内容や観光・物産展を含め、全体として、市長はどのような印象を持たれたのか。

【答】台湾からのお客様のさらなる誘致に手ごたえを感じた。観光交流及び協力について、覚書を締結した。

【問】昇龍道を成功させ、発展させるためには、近隣の昇龍道内諸県（中部北陸9県）との連携が重要であり、全面協力をあおがなければならぬが、連携の現状と考え方は。

【答】中部北陸9県を面として広域的に海外にPRするものであり、

との差別化を図ってきたい。

### 文化芸術を活かしたまちづくりについて

高山市は中心的な役割を果たしながら積極的に取り組んでいる。地域によって、多少取り組み方法は異なっているが、地域が一体となって進めているものと認識している。

【問】円安により、高山市も観光客が増加しているが、この円安のメリットを最大限に活かすためにも他の観光地との差別化なり、新しい観光戦略が必要だと思いが、今後の観光戦略の基本的な考え方は。

【答】テーマ性や趣味性が高く特別な目的を持ったツアーの促進、市内を起点とした周辺部の観光資源を周遊できるコースの創設や「着地型旅行」といった新たな旅行商品の取り組みを通して、他地域

【答】文化・芸術団体との連携を密にし、空き店舗等を有効活用し、にぎわいを創出するための取り組みを積極的に進めていく。

